

## 木簡字典

文字は、時代や地域によっても様々な書かれ方をします。そこで、古文書や木簡を読むときには様々な形の文字を集めた「字書」が必携です。日本古代木簡から字書をつくることは、私たちの「宿願」でした。こうした課題に、答えようとした最初の試みが「木簡画像データベース・木簡字典」です。優れたデータベースとして大変好評ですが、インターネットに接続しないと利用できない、という問題があります。やはり、ハンディな冊子体の字書も必要だ、ということで『日本古代木簡字典』を編集することになりました。

木簡から字書を編集する際には、大きな障害があります。木簡の文字は、紙に書かれた文字に比べて不鮮明なので、鮮明に印刷することが困難です。文字の不鮮明な字書では、役に立ちません。そこで今回は、まず木簡の写真原版を高精度でデジタルデータ化しました。次に、コンピュータで、これらの写真データから一文字ずつの画像データを作成し、さらに徹底的に鮮明化処理をおこないました。一文字ずつ、木簡の文字の持つ雰囲気もなくさないよう、丁寧に作業を進めます。墨を追加するようなことはおこなっていません。こうした作業によって、生の木簡の文字をそのまま鮮明にして、利用者に提供することができました。

文字の選択は日頃から木簡積読に従事するスタッフがおこない、できるだけ多様な字形を集めました。約1000字種・5000文字を収録しており、日本古代木簡の文字のほとんどの部分をカバーすることができたと自負しています。また、八木書店から市販もされ、売れ行きも好調な様子です(2,310円 税込)。

ぜひとも多くの方にご利用いただき、かつご意見を頂戴してよりよい字書へと進化させていきたいと考えています。(都城発掘調査部 馬場 基)



完成した『日本古代木簡字典』